



# 複合施設の建設場所は

小玉 勇 議員

自分の頭、胸中にはある

町長



老朽化した福祉会館

## 建設計画の流れは

町長 平成25年度に職員による検討委員会を組織し内容を見極めながら建設場所を決定し、用地の確保を行っていく。また統合小学校の整備と重ならないようできる限り平成28年度完成を目指す。

場所の選定にはどんな留意点を考えているか。

町長 災害時の避難場所になるということも想定しなければならず、町内外から利用する方が集まりやすく、公共交通機関を含めたアクセス面も考え総合的に判断しなければならぬ。

## 町をメジャーに

先日東京のある店で「大石田を語る会」(自称)があり、(株)紀文と地元生産物をコラボした「大石田おでん」や「JR弁当大石田」などいろいろ話に花が咲いた。どう思うか。

町長 私と同じ店で同じような話を聞いている。今すぐということはできないが、順序を踏んで一歩ずつ相手方を話をしていくつもりだ。また廃校の跡地も利用できるかを考えている。

## 給食のアレルギ対策は大丈夫か

調布市の小学校でアレルギによる事故があった。重い急性症状は当町ではどうなのか。

教育長 年々食物アレルギーを持つ児童生徒が増加しており今年度は14名となつている。対象食品は13品目に及んでいる。新年度より「そば・卵・えび・かに・ピーナッツ」の5品目に限定し対応をしていく。

シヨック状態で血圧の低下や心停止もあるというが、自己注射エピペンを持参している子供はいるのか。

教育長 現在2名持参している。シヨック状態になる前に本人が太ももに打つ。不可能な場合は周りの人、例えば養護教諭が打つとされているが、事前の練習が必要だ。エピペンは速効性があるが持続しないため、すぐ医療機関に連絡しなければならぬ。

## まめ知識

※1 ◆エピペンとは...  
食物アレルギーにも使用が認められている注射剤で、現在、親と本人による注射が認められています。しかし、本人が重い急性症状(アナフィラキシー)により意識がない場合は周囲の助けが必要です。緊急的に注射に手を貸すことは医療行為ではないとの法律上の解釈があります。



# リフトの廃止はもったいない

遠藤 宏司 議員

負担が大きすぎる

町長



リフトの運行状態は良好

## リフトは良好と聞いたが

廃止を決定した理由は何か。  
町長 検討委員会や町づくり座談会などの意見を参考にし、財政健全化や行政施策を考慮し、スキー場へこれ以上の経費負担は行えないと判断した。近々に圧雪車や施設の老朽化対策に多額の負担をしなければならず、決断を早急に行つた。

ごく最近鉄塔の塗装とワイヤーの張り替えをしたばかりで、リフトは現在良好な状態と聞いた。無駄遣いしないためには当分の間利用すべきではないか。

町長 平成21年度に100万円で「ペアリフト塗装工事」を行い、平成23年度に780万円で「ペアリフト整備工事(ワイヤー張り替え・油圧ユニット整備)」を行い現



全町的な整備が望まれる流雪溝

在リフトを運行している。来年度以降も運行するとなれば、毎年500〜600万円が必要との見込みだ。今後の利用動向を考え、今が廃止すべき時と決断した。

## 公共事業は積極的に

政府は景気回復や減災・防災対策で大規模な予算を組んでいる。流雪溝整備など町民に必要な公共事業を積極的に推進すべきではないか。  
町長 町として取り組める事業メニューの内容が

## 町内業者育成を

廃校校舎や体育館の解体工事や凍上災害復旧工事は、工事規模を細分化し出来るだけ町内業者に発注できないか。  
町長 町内業者の共同企業体にも門戸を開き指名している。入札の結果、町外業者が落札したという事だ。

現段階で明確になつていない。可能な限り情報を収集し、今後予算の補正も含めできる限り取り組みたいと考えている。